

筑波大学新聞

第226号
 編集責任 筑波大学新聞会
 編集委員 委員長 嶺 隆
 TEL: 0298(53)2040-2041
 E-mail: shinbun@sakura.cc.tsukuba.ac.jp
 月刊
 発行所 筑波大学
 茨城県つくば市 天王台1-1-1

将来設計検討委員会 報告の骨子を発表

本学の制度設計を議論してきた将来設計検討委員会(委員長「北原保雄学長」)は十一月二十一日の評議会で、骨子を報告した。本学を大学院に重点をおいた大学にすることを明示し、二〇〇四年度に移行する国立大学法人としての、新しい意思決定機関などが初めて公表された。大学の組織運営の基本方針は明らかになったが、教育研究組織の具体的な改革案は示されず、来年三月上旬にまとめる最終報告に持ち越された。十一月五日(筑波地区)と十日(東京地区)に教職員を対象に説明会が行われ、合わせて八百五十一人が出席した。(4面に骨子全文)

具体案、最終報告で

経営はトップダウン型

検討委は昨年九月に設置され、現在までに十八回、検討を重ねてきた。「今回報告した骨子は、法人化後の基幹をなす方針として考えている。具体案は、現在各組織で議論してもらっている」と筑波地区での説明会を終えた後、北原学長はコメントした。

法人化後、国立大学はそれぞれ六年間の中期目標を設定する。大学はその達成度の評価によって、教育研究や事務の組織を見直す。「法人化以降、大学の組織は流動化し、柔軟に変わる」と



教職員に向けて説明する北原学長(大学会館講堂で)

と企画調査室長の鈴木久敏教授(社会学系)はいう。今回の報告はそれを前提にしたものだ。

今後、法人化対応、学群教育、計画評価(秋に新設)の三つの専門委員会と、新設された七つの内部設計作業委員会、将来設計の詳細を検討する。法人化対応専門委員会には、附属病院、附属学校、定員管理、中期目標・計画、セグメント情報、五つの分科会を置き、法人化対応に関する個別の具体的な課題を検討する。

筑波大の制度の未来

現在、本学の大学院は、五年一貫の博士課程と、高度職業人の養成に主眼をおく二年制の修士課程の、二課程並立制をとっている。

この制度は今後、研究者養成や研究型高度専門職業人養成を目的とした従来の博士課程と、MBAや企業エンジニアの養成など、実務志向の強い教育を行う専門職大学院に再編する。

現在の修士課程は、博士課程が専門職大学院などに改組再編する。博士課程は五年一貫制に限定せず、前期二年、後期三年の分離制にする可能性もある。専門職大学院の修業年限も、二年とは限らない。

教員の配置は学系ではなく、博士課程、専門職大学院などにする。「本来、全教員が博士課程を担当するのがあるべき姿」とし、配置も基本は博士課程とす

紙面から

家永三郎 東大名誉教授 死去
 留学生懇談会 留学生(人)和やかに
 TARA 億単位の研究費獲得
 特集 探訪・農林技術センター
 ズームアップ 点字ブロック
 ライフル射撃部が存続の危機に

11109832
スポーツ 6,7
 本学運動部 大快進撃の連続

おことわり 今号はスポーツ、道構
 将来設計検討委員会を重点面
 するため、通常とは異なる面
 成でお届けします。

学系は今後、学問分野ご

との研究組織として、より大きなものに統合再編を行う予定だ。学士課程では、教養教育と分野ごとの専門基礎教育のバランスに

配慮した教育の実施を主眼に据えている。

大学の経営システムは、法人化後の意思決定機関も、骨子に盛り込まれた。



本学勢 破竹のVレッシュ続く

筑波おろしが吹き抜ける。座に輝いた。

スガ止まらない。本学運動部が、開学以来の大躍進を見せた。

(6・7面に関連記事)

十一月十七日、第三十八回全日本学生ハンドボール選手権大会決勝が行われ、本学女子ハンドボール部はライバルの東体大を下し、4 大大会制覇

22年ぶり優勝

圧勝の2連覇

金メダル2つ

初アベックV

女子ハンド

女子サッカー

女子バレー

二年ぶり六回目の優勝。春がオール一本勝ちで連覇。季、東日本、秋季、全日本、二十四日、第五十一回全日本大学サッカー選手権大会の決勝が国立競技場で行われ、本学蹴球部は決勝で、本学バレー部が、史上初の六連覇。女子も第四十九回同女子選手権大会で、十五年ぶり四回目の優勝を果たし、本学初のアベック優勝となった。

町田選手はVゴールがネットに突き刺さる(11月24日、国立競技場で提供・東峰企画)

説明会 学長主導に期待

筑波地区の教員を対象にした将来設計に関する説明会が十二月五日午後、大学会館講堂で行われ、教職員ら七百四十人が参加した。

北原学長の挨拶に続いて、濱口秀夫副学長(医療担当)が骨子を、徳永保事務局長が国立大学法人化について説明した。質疑応答の要旨は次の通り。

具体的に欠けた骨子が提示されて、がっかりしている。春の中間報告のような、わくわくするような案ではない。せめて学長はリーダーシップを発揮して、個性を出してほしい。

北原学長「徐々に時間をかけて切れ味のいい案を作っていく。色々と戦略は練っている」

濱口副学長「我々の方針は、春から何も変わっていない。これから具体案を固

本学から2人

司法試験合格者

今年度の司法試験の最終合格者千八百八十三人が十一月十三日、法務省から発表された。本学出身者が合格

したのは平成三年度人間卒、平成十一年度国際卒の二人で、昨年と同数。出身校別では、昨年の三十四位から三十七位、国立大学の中では順位は昨年の十四位から十八位に後退した。

筑波雑記

体育科学系A棟一階、入ってすぐ右手に、象牙色をしたシヨーカーズが三つ、並んでいる。大学院生と教員の研究業績が展示されている。内容は週ごとに入れ替わる

「先生が、研究にどれだけ真摯に打ち込んでいるのか。その背中を見て、学生は育つ」。博士課程長の鈴木正成教授(体育科学系)が、このシヨーカーズを設置したのは、体育科学研究科長になった二〇〇〇年秋。業績第一主義を組織に浸透させるマニフェストだった。設置のために、約百万円の財を投じた。学生や教員の人通りが絶えない廊下に、それは置かれた。わかりやすく書かれた研究の概略、顔写真と業績リスト、高校からの履歴も展示する。大学院生や若手研究者にとって、読まれて恥ずかしい、良い研究をしようとする、刺激になった。業績の貧弱な教員は、シヨーカーズを通る時に、わざと目をそらしたという。今年、本学から三つの21世紀COEプログラムが選ばれた。体育科学系の教員が中心となったプロジェクトには、約二億五千万円が初年度交付金として支給された。学内で最も高額だ。COEが取れたのは、鈴木教授の改革のおかげ。ある教員は言う

現在、博士課程長として、全学の優秀な院生を表彰する制度を検討中だ。「学生をいかにエンカレッジするか。これが大学の本筋だ。それぞれの改革が、実を結んでいる。」

家永三郎 東教大名誉教授 死去

教科書検定訴訟起こし 32年間 歴史教育を問う

三十二年間にわたって教科書検定訴訟の原告とな



第3次家永教科書最高裁判決後、笑みを浮かべた家永三郎さん(憲政記念館で、1997年撮影。毎日新聞社提供)

め都内で亡くなった。八十九歳だった。告別式などは遺志で行わず、親族のみで密葬を行った。(5面に追記)

編纂所 旧制新潟高教授を経て、四四年に東京高等師範学校(後の東京教育大、本学の前身)の教授になつた。七七年に東京教育大を定年退官、中央大教授も務めた。

なり、六三年度検定では条件付き合格となつた。このため検定制度の憲法性などを主張し、六五年に第一次訴訟を起こした。六七年には六六年度検定での不合格処分取り消しを求めて提訴した(第二次訴訟)。第一

次、第二次訴訟は、家永名誉教授の主張が退けられる形で、判決が確定したが、第三次訴訟の最高裁判決で、検定制度は合憲とすつても、南京大虐殺「七三一部隊」などの記述を削除するよう求めた検定側の意見は違法とするなど、訴えの一部が認められた。一連(芸術三年)は、今回来てみて、意外と大きなプロジェクトなのだといわれた。芸八はかなり変わりがつたので、より多くの人の意見を集めてやっていきたい」と意欲をみせた。

東京教育大で、講義を受けていた山本隆志教授(歴史・人類学系)の話。先生の講義はいつも緊張感があった。思想史が専門で、親鸞や聖徳太子など、自分が惚れ込んだ人物を研究されていた。植木枝盛や津田左右吉も、模範とした人物として取り上げておられた。一方で、太平洋戦争の研究をされていたのは、戦争で亡くなった人々への思いのためなのでは、と感服している。

東京教育大での最終講義を受けていた常木晃・助教(歴史・人類学系)の話。見たとあり小柄だが、ものすごく硬派な曲げない方だった。最終講義にははじめから終わりまでマスクや学生、先生方がいっぱいにつめかけていたが、毅然(きぜん)とした態度が印象に残っている。学生時代は先生の裁判の支援グループに入っていて、傍聴のため裁判所前に並んだことも覚えている。

見を違法とするなど、訴えの一部が認められた。一連の教科書検定訴訟は、検定制度の透明化を進める原動力となり、現在は検定自体も緩やかになった。国が教育にかかわることについて、大きな議論を呼んだ。

洋画コースの宮川幸子さん(芸術三年)は、「今回来てみて、意外と大きなプロジェクトなのだといわれた。芸八はかなり変わりがつたので、より多くの人の意見を集めてやっていきたい」と意欲をみせた。今回のリノベーションの予算は五百万円、改装工事は来年の春休みを予定している。このリノベーションの中心となっている島根桃代講師(芸術学系)は、「みんなが参加して完成させた時、一体感や感動が生まれるかもしれない。そうすれば、より魅力のある場所になっていくと思う」と話した。

視点

産学連携のいま

産学連携をめぐる動きが急激に変化している。ベンチャーの設立が相次ぎ、共同研究の話題も目白押しだ。本学でも様々な取り組みが進む。

未回答九六パーセントという数字が、教員の関心のありよさを物語っている。LICの設立記念フォーラムが、七日に開催したベンチャーシンポジウムはさらに辛辣だった。基礎講演を行ったアメリカ生命保険会社の大竹喜喜会長も、こつぱな口調で、頭を下げない限り(企業関係者、関係事務官)、我関せずと沈黙を保つた。研究と教育が大学の基本。産学連携はその副産物だ、と主張するもの、どこか空回りしている。

産学連携は、大学の社会貢献の一つの姿だ。いま、教員一人一人の在り方が問われている。(本紙・池本美佳「比較文化学」)

「産」の話の焦点はむしろ、教員「大学の研究者には、もっと将来的、社会的なビジョンを持つてほしい。それは研究だけでなく、教育においても同じだ」

だが、肝心の教員に存在感が乏しい。大学は連携事業の柱の一つに、「教員の意識改革」を掲げているが、先行きは楽観できない。

「産」の話の焦点はむしろ、教員「大学の研究者には、もっと将来的、社会的なビジョンを持つてほしい。それは研究だけでなく、教育においても同じだ」

「産」の話の焦点はむしろ、教員「大学の研究者には、もっと将来的、社会的なビジョンを持つてほしい。それは研究だけでなく、教育においても同じだ」

「産」の話の焦点はむしろ、教員「大学の研究者には、もっと将来的、社会的なビジョンを持つてほしい。それは研究だけでなく、教育においても同じだ」

「ベンチャー」起業や共同研究をしませんか。産学リエンジンの教員四百七十六人を対象にこんなアンケート調査を行った。しかし回答者はわずか十八

「産」の話の焦点はむしろ、教員「大学の研究者には、もっと将来的、社会的なビジョンを持つてほしい。それは研究だけでなく、教育においても同じだ」

「産」の話の焦点はむしろ、教員「大学の研究者には、もっと将来的、社会的なビジョンを持つてほしい。それは研究だけでなく、教育においても同じだ」

「産」の話の焦点はむしろ、教員「大学の研究者には、もっと将来的、社会的なビジョンを持つてほしい。それは研究だけでなく、教育においても同じだ」

「変化に鈍感」厳しい学外の声

肝心の教員の関心は低く



LIC設立記念フォーラム。190人の傍聴者の中、教員の参加は9人だった(つくば国際会議場)

「産」の話の焦点はむしろ、教員「大学の研究者には、もっと将来的、社会的なビジョンを持つてほしい。それは研究だけでなく、教育においても同じだ」

学生会 留学生 600人とやかに

三味線とドラムの演奏も

学長主催の外国人留学生懇談会が十一月二十日、二食堂で開かれた。留学生約六百人を始め、チューターや教職員、奨学団体などが招待された。この懇談会は春と秋の年に二回開催されている。

北原保雄学長の挨拶の後、スロベニアからの留学生、ペテル・ウイヴォダさんが、「今日も生涯の一日なり」という福沢諭吉の言葉に習い、一日一日を大切に勉強に励み、筑波で

大きな思い出を作りたいと、流暢な日本語で謝辞を述べた。来賓紹介に続いて、筑波大学留学生会(TISA)と国際交流を深める会(APIC)が挨拶。特にTISA前会長の呉健柏さん(国際二年)はステージ上で新会長の李展さん(国際一年)と引き継ぎをし、「困ったことがあったらいつでも相談して下さい」と頼もしく話した。

乾杯の後は邦楽部の三味線やピアノ、ドラムという斬新な組み合わせの演奏が披露され、会場では留学生や学生、教員がにぎやかに歓談し、広い食堂もぎゅうぎゅうだった。

北原学長は「留学生のしつかりとした日本語の使い方は、いつも感心させられる。今日は皆が楽しくやってくれていてうれしい」と話した。

が、会場が縦長で、中央で話をしてもなかなか伝わりにくいのが残念だ」と話した。



会場にはおでん屋も登場した

学長主催の外国人教師・外国人研究者懇談会が十二月四日午後、大学会館一階プラザで開催された。北原保雄学長をはじめ、高木英明副学長(研究担当)、国際交流課の職員らと、外国人教師や外国人研究者など約百人が、立食形式の懇談会を楽しんだ。

学長は冒頭で、「二〇〇四年には国立大学法人化が控えている。外国人教師や研究者、留学生にとって、魅力的な大学に変革していく必要がある」と、見事な英語でスピーチ。研究や教育で交流をより円滑にしていきたいと抱負を語った。学長が英語で挨拶することは珍しく、「初めて耳にした」という驚きの声が上がった。

懇談は約二時間つづき、和やかな雰囲気の中、様々な言語で親交を深めていた。参加した外国人教師は「普段は日本人の学生や教官とばかり接しているため、このような機会は貴重だ」と同じ国出身の教師や研究者がいることをこの場で初めて知った。など、一様に満足そうだった。

「日本の教育経験に照らした新しいモデルの探求」をテーマに十一月十八日、教育開発国際協力センター(センター長「村田翼夫・教育学系教授」)の第一回国際フォーラムが大学会館国際会議室で開催された。

講演はすべて英語で行われ、会場には留学生の姿が多くみられた。話に熱心に聞き入り、講演後はさかんに質問が飛び交った。

検証 筑波の国際性

十一月九日土曜日の午後、留学生センター一階ロビーでTISA(筑波大学留学生会)恒例の秋のバザーが開催された。二百人を超す留学生が会場を訪れ、お買い得品を求めて大変な賑わいを見せた。

日本の物価高に苦しむ留学生に日用品生活を安く提供しようと毎年夏と秋の二回、定期的に開かれて、すでに十年以上になる。だが、昨年春からこのバザーの様子が大きく変わった。

展示された商品は、洗剤や石鹸、タオルなどの生活雑貨を中心に食品もかなりのウエイトを占めている。これまでのTISAバザーで目玉商品の役割を果たし、人気を集めたヒーターヤスト

ブ、こたつなどの家庭電化製品は、会場のどこを探しても見あたらない。衣類がないのも今年の特色だった。

TISA前代表の呉健柏さん(国際二年)が、その理由を明かしてくれた。「昨年から家電と衣類の寄付を断った。家電製品は需要が多かっただけに残念だが、仕方がない」と話した。

呉さんによると、昨年四月、家電リサイクル法が施行されて事実上、バザーで家電製品を提供することは不可能になった。万一家電製品が売れ残った場合、処分する費用をTISAが負担しなければならぬから、同法が施行されるまで担えない」とバザーで

TISAバザー

家電製品を扱うのりサイクル料金に業者定も低価格に抑えられたが、処分の費用まで負担できない」とバザーで

家電製品を扱うのりサイクル料金に業者定も低価格に抑えられたが、処分の費用まで負担できない」とバザーで

家電製品を扱うのりサイクル料金に業者定も低価格に抑えられたが、処分の費用まで負担できない」とバザーで

家電製品を扱うのりサイクル料金に業者定も低価格に抑えられたが、処分の費用まで負担できない」とバザーで

家電製品を扱うのりサイクル料金に業者定も低価格に抑えられたが、処分の費用まで負担できない」とバザーで

家電製品を扱うのりサイクル料金に業者定も低価格に抑えられたが、処分の費用まで負担できない」とバザーで



商品を手取る留学生 (昨年のTISAバザーで、写真左が呉さん)

家電製品を扱うのりサイクル料金に業者定も低価格に抑えられたが、処分の費用まで負担できない」とバザーで

家電製品を扱うのりサイクル料金に業者定も低価格に抑えられたが、処分の費用まで負担できない」とバザーで

家電製品を扱うのりサイクル料金に業者定も低価格に抑えられたが、処分の費用まで負担できない」とバザーで

家電製品を扱うのりサイクル料金に業者定も低価格に抑えられたが、処分の費用まで負担できない」とバザーで

家電製品を扱うのりサイクル料金に業者定も低価格に抑えられたが、処分の費用まで負担できない」とバザーで

留学生の目



李明放

突然、行きたい、そして絶対に行かなければならないと思った。すぐに留学を決め、何の準備もなしに、日本行きの飛行機に乗った。ちょうど二年がたったが、時の流れがもたらすさまざまな変化の中で私の暮らしも新しさへの期待と戸惑いの間を漂っている。

私は、たまにもどかしい時がある。日本人は感情をあまり表に出さないのを感じている。中国は同じアジアの国だが、もっと本音を言ってくれる。積極的であり隠さない。それは「日本語」自体にも感じる。私は日本語を勉強している間に、日本語がはつきりした表現を避ける」と気付いた。友

突然、行きたい、そして絶対に行かなければならないと思った。すぐに留学を決め、何の準備もなしに、日本行きの飛行機に乗った。ちょうど二年がたったが、時の流れがもたらすさまざまな変化の中で私の暮らしも新しさへの期待と戸惑いの間を漂っている。

突然、行きたい、そして絶対に行かなければならないと思った。すぐに留学を決め、何の準備もなしに、日本行きの飛行機に乗った。ちょうど二年がたったが、時の流れがもたらすさまざまな変化の中で私の暮らしも新しさへの期待と戸惑いの間を漂っている。



曖昧だけど厳しい日本 出合いは縁、心開いて

年、特にそう感じた。これだけしかできない。生活のスピードも速い。みんながルールに縛られ、打ち消しで言うが、欧米の人は「これがわたしにできるすべてである」と言っている。日本人は謙虚な精神を持っていると感じる。夜遅くまで働き、また中国語は正直に心を

年、特にそう感じた。これだけしかできない。生活のスピードも速い。みんながルールに縛られ、打ち消しで言うが、欧米の人は「これがわたしにできるすべてである」と言っている。日本人は謙虚な精神を持っていると感じる。夜遅くまで働き、また中国語は正直に心を

年、特にそう感じた。これだけしかできない。生活のスピードも速い。みんながルールに縛られ、打ち消しで言うが、欧米の人は「これがわたしにできるすべてである」と言っている。日本人は謙虚な精神を持っていると感じる。夜遅くまで働き、また中国語は正直に心を

真剣に語り合う夏があってもいいと思う! 第55回日米学生会議 参加者募集!

日米学生会議は、1カ月間の夏の本会議を通して、日米両国から集う約70人の学生が自由闊達な議論と文化的交流を通して相互理解を深め、学問的成長を遂げると共に、学生ならではの視点と意見の社会発信を行います。2003年の夏の本会議を共に作り上げる仲間を大募集します。

日程 2003年7月26日 8月21日
開催地 東京、沖縄、福井、京都
募集人数 28人
応募期間 2003年2月1日 28日
主催 (財)国際教育振興会
お問い合わせ 資料請求
e-Mail: sc55contact@yahoo.com
Tel: 03-33359-0563 (事務局)
日米学生会議HP: http://www.u-net:

人文社会科学部 文化講演会 昭和からのメッセージ

講演者 笹本恒子(フォトジャーナリスト)
笹本恒子氏は昭和15年財団法人日本写真協会に入社し、女性第一号の報道写真家としてデビュー。戦後はフリー・フォトジャーナリストとして活躍し、太平洋戦争勃発直前の社会、敗戦後の復興期、高度経済成長期をひたむきに生きた日本人の姿を歴大な報道写真に収めています。今回はスライドを見ながら、昭和とは何であったか、戦争とは何であったか、女性はどのように生き抜いてきたかを講演します。若い学生諸君と出会うことを楽しみにしています。

日時 12月19日(木)午後4時30分
場所 第一学群1H201教室
問合せ先 青木三郎(文芸・言語学系助教授)
aoki@lingua.tsukuba.ac

筑波大学外国人留学生会 入会のお願

外国人留学生を援助し、留学生生活の健全な発展を図ることを目的に、本年9月24日に本学の教職員及び各学系教授並びに外国人留学生支援団体等を会員とする筑波大学外国人留学生後援会が設立されました。後援会は、外国人留学生の緊急時の支援や賃貸住宅入居時の連帯保証などの各種支援を行います。どうか後援会の趣旨にご賛同いただき、一人でも多くの教職員が後援会にご入会くださいますよう、ご支援方よろしくお願いたします。

年会費 101000円(何口でも)
申込方法 学系など担当事務を通じて、各教育研究支援室、または留学生課内の後援会事務局へ
申込期間 12月2日(月) 24日(火)
問合せ先 後援会事務局 (留学生課内 内線電話6060)

福岡国際 谷本、全試合で一本勝ち 佐藤、寝技で掴んだ世界一



谷本歩実



佐藤愛子

柔道

大舞台・福岡国際で谷本歩実(体育3年)と佐藤愛子(同1年)が、底力を見せつけた。

谷本の決勝の相手は、昨年と同じ上野順恵(三井住友海上)。3分36秒、左組みの上野に左の一本背負い投げをかけ、勝負を決めた。11月16日の全国女子体重

別では、まさかの初戦敗退。「これがいきつけになっていた」という谷本は、10月のアジア大会に続く全試合一本勝ちを果たし、来年の世界選手権(大阪)代表入りにも一歩近づいた。

全国女子体重別決勝で、ライバルの横澤由貴(三井住友海上)に敗れ、福岡でリベンジしたい」と話して

いた佐藤 横澤が準決勝で敗れ、対戦はならなかったが、決勝はA・ウラニイ(フランス)を相手に2分5秒、袖釣り込み腰で有効を取り、そのまま押さえ込んで一本勝ちした。終わってみれば、全4試合中3試合が押さえ込みによる一本勝ち。佐藤の寝技の強さが光った。

警視庁武道館) 81キロ級 中国・青島国際柔道大会(11月30日・12月1日) 男子 小野卓志(同4年) 準優勝 73キロ級 高松正裕(同3年) 準優勝 子90キロ級 竹澤稔裕(同1年) 3位

授)は息を飲んだ。しかし、ゴールキーパーの宮里雅志(医学4年)がファイナルを連発。残り30秒、ついに同点に追いついた。さらに残り3秒、岩永生(体育1年)の渾身のシュートがネットに収まり試合終了。パンチは大騒ぎだった。大西監督は、「一生忘れられない試合だ」と語る。宮里は「勉強との両立など、大変な4年間だったので、最後にこの大会で結果を出したかった」と思い入れを語った。大西監督は「力尽くで決勝では敗れてしまった。もう一歩ステップアップが必要」と今後の課題を示した。

インカレ 史上初の6連覇 女子 接戦制し、15年ぶりV



35 センチメートルの高さから、強烈なスパイクを打ち込む柴田(東京体育館で、撮影・蒔田備恵=社会学類)

バレー

「絶対勝つんだ」。最大の関門だった準決勝、嘉悦大戦で大活躍したエース岡本さつき(体育4年)。

岡本は誰よりも強い思いで決勝戦に臨んでいた。「この大会でバレーはやめる。それでも、みんなが救ってくれた」。セッターの東圭子(同)は、岡本と並ぶジャンプ力を持つ村上友香(同3年)にトスを集める。

地上約3メートルからの強烈なスパイクで、試合の流れを引き寄せた。2セット目はジュースを7回繰り返す大接戦となったが、粘り強いレシーブで勝利。その

女子優勝の興奮がさめやらぬ中、男子チームがコートに駆け込んでくる。「6連覇するぞ!」。自信に満ちた掛け声が、会場に響きわたった。相手は東海大。春・秋と1年間、優勝を争ってきたライバルだ。

たので、今年は絶対に負けたくない」と、キャプテンの高橋敦子(体育4年)。癖も弱点も知り尽くした相手だけに接戦となり、同点のまま後半戦へ。

「チームの雰囲気は最高だった」。6人の選手全員が異口同音に言う。夏、故障者が相次ぎ永井監督から「このままではシートもとれないぞ」と言われた時も、ミーティングで本心をぶつけお互いに励まし合った。主将山崎が作り上げた「今まで一番の団結力」がチームを2連覇に導いた。

インカレ 4大会を完全制覇 女子 ハンド

女子

決勝の相手は東京女子体育大。6年連続で日本一を争ってきた。昨年は負け

たので、今年は絶対に負けたくない」と、キャプテンの高橋敦子(体育4年)。癖も弱点も知り尽くした相手だけに接戦となり、同点のまま後半戦へ。



東女体大のディフェンスをかわし、シュートを狙う高橋(大阪市中央体育館で)

「ミラクル筑波」。今大会でチームはこう呼ばれた。日本大との準決勝、1点を争う展開が続き、本学1点リードの後半20分、大に逆転を許すが、試合終了間際に追いつき10分間の延長戦に突入。ここで日大に2点リードを許し、一瞬、これまでかと思つた」と大西武三監督(体育科学系教授)は息を飲んだ。しかし、ゴールキーパーの宮里雅志(医学4年)がファイナルを連発。残り30秒、ついに同点に追いついた。さらに残り3秒、岩永生(体育1年)の渾身のシュートがネットに収まり試合終了。パンチは大騒ぎだった。大西監督は、「一生忘れられない試合だ」と語る。宮里は「勉強との両立など、大変な4年間だったので、最後にこの大会で結果を出したかった」と思い入れを語った。大西監督は「力尽くで決勝では敗れてしまった。もう一歩ステップアップが必要」と今後の課題を示した。

試合は、終始本学ペース。センターの山村宏太(同4年)は、2メートル5の長身を生かし、スパイクとブロックを立て続けに決める。「のびのびやろつ」。笑顔でチームを勢いづける。

「普段の力を出せば、絶対負けられない」。決勝戦で、都澤凡夫監督(体育科学系助教)は1度もタイムアウトを申請しなかった。結局、今大会1セットも落とさず、「完全優勝」。涙



本学初の2連覇に、満面の笑みをみせる陸上競技部(長居陸上競技場で)

で走るスピードを買われ、起用された。出だし1キロがオーバーペースになり、3キロ付近で立命大、名城大に、6秒差に詰められてしまう。「自分のリズムをつかまなければ、抜かれる」。トップは死守したが、中継点付近で、差は15メートルだった。

チームワークで独走V2 陸上 駅伝女子 アンカー山崎が区間新

第20回全日本大学女子駅伝が11月24日、大阪市の長居陸上競技場を発着点とする、6区間39キロのコースで行われた。本学陸上競技部は2時間9分39秒の記録で、2年連続3度目の優勝を達成した。

「よし、突き放そう」。4秒差でタスキを受けた、2年連続のアンカー山崎麻子(同4年)は、直前まで詰められていることを知らなかった。しかし、26秒差を追った昨年と違い、今年には余裕があった。最初の1キロで、2位の名城大を12秒差に突き放す。3キロ地点を前に再び独走態勢となり、2位に2分3秒の大差

22年ぶり7回目の全国制覇

第51回全日本大学サッカー選手権大会

町田、延長逆転Vゴール

攻撃的布陣が功を奏す

サッカー

前半戦は本学のペースで優勢に進めたが、得点には至らず、転じて後半19分、PKで失点した。

「このPKから試合が動き出した」と山中邦夫監督(体育科学系教授)は追加点を狙って国士大は攻撃的な選手を投入。追う本学は1トップから2トップへ攻撃の枚数を増やした。守備の負担は増したが、0-1でも0-2でも負ければ同じと点を取る攻めに転じた。38分には相手MFが退場、数的優位に立ったが、それでも点は入らない。

「また準優勝か」と山中監督が思った後半40分、ゴール前の混戦からMF兵衛昭弘(体育2年)が左足を振り抜く。ボールはGKの手をすり抜けてゴール。逃しかけた優勝を引き寄せる得点に、応援席は沸き返った。両腕を突き上げて兵衛がバックススタンドへ一直線に駆け寄る。終了直前の同点弾にチームは勢いづいて、延長戦、国士大の攻めをしのいだ99分、ゴール前で反転したFW鈴木孝明(同3年)がシュート。GKがはじいたボールに兵衛が飛び込み、GKが再度止めたボールを、FW町田多聞(同)がゴールネットにけり込んだ。

「タイトルに飢えていた。今年の春、キャプテン最後のチャンスがこのインカレ(インカレ)が大学サッカーの三大タイトルだ。昨年は無冠に終わり、今年こそはと意気込んだ。しかし、総理大臣杯は予選で敗退。リーグ戦は首位に立ちながら、駒澤大に優勝をさらわれた。タイトルを手にする



勝利の余韻に浸る蹴球部(国立競技場で、提供=内藤弥穂)

最後のチャンスをこのインカレ(インカレ)が大学サッカーの三大タイトルだ。昨年は無冠に終わり、今年こそはと意気込んだ。しかし、総理大臣杯は予選で敗退。リーグ戦は首位に立ちながら、駒澤大に優勝をさらわれた。タイトルを手にする

優勝選手は次の通り。第8回全日本フット競技選手権大会が11月9、10日、静岡県沼津市の東海大開発工学部体育館で開かれ、本学勢が上位を独占した。大会は、来年ノルウェーで開催される第5回世界フット競技選手権の日本代表選手の選考会も兼ねていた。男女あわせて12人の枠があるうち、本学から7人が選ばれた。

個人賞 ベストGK 阿部謙作、ベストDF 千代反田充、ベストMF 鎌代反田充、ベストFW 鎌代反田充

第8回全日本フット競技選手権大会(12月11日、ひたちなか) 1回戦、筑大1-3 ヴァンフォーレ甲府

第22回つくばマラソン 7919人が完走

完走者は7919人。フルマラソン部門で優勝したのは、招待選手で愛三工業の高橋秀樹で記録は2時間17分52秒だった。



38 パワードスーツ

行動予知し歩行をアシスト ロボットと人間の関係再考

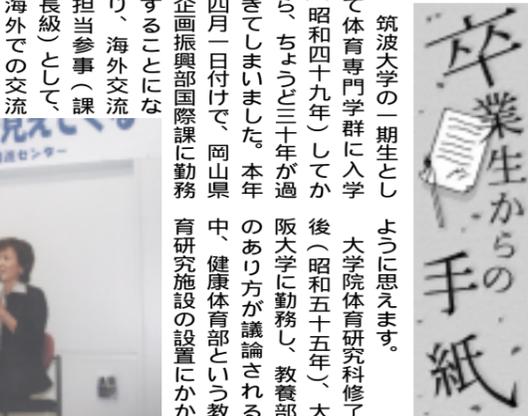
あるコビーのテレビコマーシャル。森繁久弥が陸橋の階段を見上げ、困っていると、松本人志が背負ってあげまじょうと現れる。心温まる光景だが、近いうちに松本人志ではなく、ロボットの仕事になるかもしれない。

人間の歩行や立ち座りを、足に取り付けたモーターの動きで助けるパワードスーツHAL(ハイブリッド・アシスティブル・レッグ)の開発が山海嘉之助教授(機械工学系)のもとで進んでいる。HALのシステムは、無骨な外見に似合わず繊細だ。両足の股関節と膝関節の四つの関節に、それぞれ二個のセンサーを付ける。ひとが動くときに筋肉から発生する筋電位を、センサーがキャッチ。背中に搭載したアンブが、筋電位を生体情報として把握し、コンピュータに送る。すると、装着しているひとの次の行動と、筋肉が起す力が予測され、股関節や膝のモーターが動く。これによってHALは次の一歩をアシストする。

技術的な壁は高かった。数ミリボルトという微弱な電流の筋電位から生体情報を計測する際、筋電位からノイズを除去し、個人差や体調に左右される筋力の変化を克服するのに、二年を要した。

「後ろから人が足をサポートして動かしにくくしているの様に、軽く歩ける。」

山海嘉之助教授の研究室(工学系)で、HALの開発が進んでいる。HALのシステムは、無骨な外見に似合わず繊細だ。両足の股関節と膝関節の四つの関節に、それぞれ二個のセンサーを付ける。ひとが動くときに筋肉から発生する筋電位を、センサーがキャッチ。背中に搭載したアンブが、筋電位を生体情報として把握し、コンピュータに送る。すると、装着しているひとの次の行動と、筋肉が起す力が予測され、股関節や膝のモーターが動く。これによってHALは次の一歩をアシストする。



卒業生からの手紙

筑波大学の一期生として体育専門学群に入学(昭和四十九年)して、その後(昭和五十五年)、大阪大学に勤務し、教養部で、健康体育部という教育振興部国際課に勤務することになった。

「(昭和五十五年)大阪大学に勤務し、教養部で、健康体育部という教育振興部国際課に勤務することになった。」

筑波大学の一期生として体育専門学群に入学(昭和四十九年)して、その後(昭和五十五年)、大阪大学に勤務し、教養部で、健康体育部という教育振興部国際課に勤務することになった。

「(昭和五十五年)大阪大学に勤務し、教養部で、健康体育部という教育振興部国際課に勤務することになった。」

筑波大学の一期生として体育専門学群に入学(昭和四十九年)して、その後(昭和五十五年)、大阪大学に勤務し、教養部で、健康体育部という教育振興部国際課に勤務することになった。

「(昭和五十五年)大阪大学に勤務し、教養部で、健康体育部という教育振興部国際課に勤務することになった。」

筑波大学の一期生として体育専門学群に入学(昭和四十九年)して、その後(昭和五十五年)、大阪大学に勤務し、教養部で、健康体育部という教育振興部国際課に勤務することになった。

「(昭和五十五年)大阪大学に勤務し、教養部で、健康体育部という教育振興部国際課に勤務することになった。」

岡山初、民間から行政職に 100カ国以上回り柔道普及 猪熊真さん

岡山初の民間から行政職に就いた猪熊真さん(45歳)が、柔道普及のために100カ国以上を回り、民間から行政職に就いた。

「岡山初の民間から行政職に就いた猪熊真さん(45歳)が、柔道普及のために100カ国以上を回り、民間から行政職に就いた。」

億単位の研究費獲得

山本教授 現代病の基礎研究

寅市教授 日本発の情報技術

山本教授は、現代病の基礎研究に力を入れている。約十六億円の研究費を獲得した。山本教授は、現代病の基礎研究に力を入れている。約十六億円の研究費を獲得した。山本教授は、現代病の基礎研究に力を入れている。約十六億円の研究費を獲得した。



原点
「自然も社会もすべてが日本と違う」。今様の言葉ならカルチャーショック。一九七一年に初めてブラジルを訪れたときの驚きが、熱帯の地生態系とその人為的変化の研究のために、私が二十数年回もブラジルに通い続けてきたことの原因といえる。七〇年代初めといえ、まだドル三六〇円という固定相場時代で、今のように誰でも気軽に海外旅行ができる時代ではなかった。当時始

ブラジルに通って30年



松本栄次
「自然も社会もすべてが日本と違う」。今様の言葉ならカルチャーショック。一九七一年に初めてブラジルを訪れたときの驚きが、熱帯の地生態系とその人為的変化の研究のために、私が二十数年回もブラジルに通い続けてきたことの原因といえる。七〇年代初めといえ、まだドル三六〇円という固定相場時代で、今のように誰でも気軽に海外旅行ができる時代ではなかった。当時始

Pウォークで地域交流

「ぐっぴい」新サークルの運営支援も



交通事故や自殺などで親をなくした高校生、大学生を支援する「あしながPウォーク」が十一月十日、水戸市で行われ、本学からPウォーク実行委員会茨城県代表の森山花鈴さん(社会三年)ら十人、県内の人材として参加した。森山さんはこの九月、県内のボランティア団体と交流を深めるため茨城学生団体支援組織「ぐっぴい」(代表「木村亮介・社会二年)を設立したばかり

鬼沢教授が産学連携

感情持つ人工知能を

機能工学系の鬼沢武久(本学東京)が、パチンコソフト開発のサミー(同)と産学連携で次世代人工知能分野の研究開発「アーク・プロジェクト」を開始した。アーク・プロジェクトは、正解の無い問題に対して人工知能と人間が、意見を交換し合いながら納得のいくまで、答えを探し出していくシステムの開発を目指している。例えば競馬の教室を解放してもらった

MC展

迫力ある大作ズラリ

修土課程芸術研究科(洋画・日本画・版画分野)の作品展、第十八回MC展が十一月十九日から二十四日まで、つくば美術館(つくば市吾妻)で開催された。五十一作品が展示され、千二百人の入場者が訪れた。展示作品は、大半が縦横一メートル半以上の大作ばかり。来場者は迫力ある作品の数々に見入っていた。このMC展は同研究科の授業の一環として行われている。最終日には、展示された洋画と版画の講評会が同時に公開され、石井武夫(教授芸術学系)ら四人が、それぞれの作品を講評した。二カ月半かけて洋画を



一九五二年、おたまたまやきの細胞からカエルを生み出すことにより、世界最初のクローン動物が誕生した。研究は進み一九九三年、ジョージ・ワシントン大学の研究チームが人間の胚のクローン作りに成功した。生殖医療はクローン人間を生産させるのである。一九三二年、イギリスの小説家オルダス・ハクスレー(一八九四―一九六三)は、すばらしい新世界という小説の中で、「壘」と呼ばれる人工子宮で人間が大量生産され、加えられる液によって社会階層が決まる超未来の社会を描き出した。作り出された人間は、糸

科学進む未来は幸せ?

すばらしい新世界

オルダス・ハクスレー著 松村達雄訳

一九五二年、おたまたまやきの細胞からカエルを生み出すことにより、世界最初のクローン動物が誕生した。研究は進み一九九三年、ジョージ・ワシントン大学の研究チームが人間の胚のクローン作りに成功した。生殖医療はクローン人間を生産させるのである。一九三二年、イギリスの小説家オルダス・ハクスレー(一八九四―一九六三)は、すばらしい新世界という小説の中で、「壘」と呼ばれる人工子宮で人間が大量生産され、加えられる液によって社会階層が決まる超未来の社会を描き出した。作り出された人間は、糸



江藤秀一

受賞者一覧

- 竹谷悦子助教(現代学系) 現代文化学系 米國社会学研究評議会 Abe Fellowship Award
- 中原篤徳助手(芸術学系) 第三十四回日展特選 古口晴敏工学研究科五年 日本人工師学会 JSAOIGRA
- 嶋品代(理工学系) 情報工学研究科一年、水島清(理工学系) 情報工学研究科一年、田村真理子(医科学系) ASAIO Student Abstract Award
- 宮崎修一助教(物質工学系) 材料科学技術振興財団第一回山崎賞
- 小場瀬令二教授(社会学系) 建築研究所「こんなまちに住みたい」懸賞論文最優秀賞 金葉講師(物質工学系) 日本金属学会奨励賞 峰松健夫(農学研究科四年) 日本家畜学会二〇〇二年度秋大会優秀発表賞 子ヨシ・カー・ウィー(システム情報工学研究科一年、水嶋晶代(理工学系) 情報工学研究科一年、田村真理子(医科学系) ASAIO Student Abstract Award
- 宮崎修一助教(物質工学系) 材料科学技術振興財団第一回山崎賞
- 小場瀬令二教授(社会学系) 建築研究所「こんなまちに住みたい」懸賞論文最優秀賞 金葉講師(物質工学系) 日本金属学会奨励賞 峰松健夫(農学研究科四年) 日本家畜学会二〇〇二年度秋大会優秀発表賞 子ヨシ・カー・ウィー(システム情報工学研究科一年、水嶋晶代(理工学系) 情報工学研究科一年、田村真理子(医科学系) ASAIO Student Abstract Award

「自然も社会もすべてが日本と違う」。今様の言葉ならカルチャーショック。一九七一年に初めてブラジルを訪れたときの驚きが、熱帯の地生態系とその人為的変化の研究のために、私が二十数年回もブラジルに通い続けてきたことの原因といえる。七〇年代初めといえ、まだドル三六〇円という固定相場時代で、今のように誰でも気軽に海外旅行ができる時代ではなかった。当時始



ノギセンとは

広さは東京ドーム9個分

農林技術センターは、一三九・七五ヘクタールと、この矢野の西に位置する。いう広大な敷地は、筑波地区

環境に配慮した農業を

最近、よく耳にするISO14000。この認証の取得をセンターが目指している。国立大の農場が独自に取得するのは全国初。ISOとは、国際標準化規格のこと。ISO14001では「環境マネジメントシステム規格」を扱う。欧州では取引の際、取得が必要となる場合もあり、世界的な環境保護の基準になりつつある。国内では約一万件取得され、世界中の取得件数の四分の一を占める。

ISO取得へ

この認証の取得には、重大な法的観点から点数を付けている。特に環境負荷の高いものを特定する。独自に環境方針を立て、具体的な目標を設定し、運用のための規定を整備する。技術専門職員の今野均さんは「環境に関する話題が世間話の中にも出るようになった」とその変化を語る。

センターでは、国立大学法人化や食の安全を求める社会的声に押され、二〇〇一年四月ごろから取得に向けて動き始めた。今年四月には環境計画室を立ち上げ、筑波地区の農場と筑波苗畑

なる。開所は開学と同時に一九七三年十月。センターは、生物資源学類の実習や、全学対象の「食と緑の体験実習」、一般市民を対象とした公開講座を開いている。センター内には、水田や果樹園、ビニールハウス、大型農機格納庫まで備える。乳牛や、水牛、羊も飼育している。センター東には植物見本園があり、樹木の種類は三百種以上にのぼる。

田んぼ、牛、果樹園……。農林技術センター(通称ノギセン)には、大学とは思えないのどかな風景が広がっている。魅力満載のノギセン取材した。(本紙・時田備憲、山口圭一) 社会学類 沼尻知子 廣野郁恵 比較文化学類 山脇学 国際総合学類

探訪・農林技術センター 大学の中の別世界

美味しい話

販売 センターでは、季節ごとに花や果樹、野菜を販売している。市場よりも値段が安く、人気が高く、健康食品としてスーパードラッグの店頭にも置かれるようになった。

大人気「ノギセン市場」



柿は晩秋が盛期。取り入れをする技術専門職員の西田清作さん(果樹園で)

販売 販売所はセンター内の月・水・金の午前九時から十二時三十分、午後一時から三時まで。野菜と果物は電話注文で一時から受け付ける。支払いと受け渡しは二時から四時まで。電話は0298・53・2543、2545。

販売 販売所はセンター内の月・水・金の午前九時から十二時三十分、午後一時から三時まで。野菜と果物は電話注文で一時から受け付ける。支払いと受け渡しは二時から四時まで。電話は0298・53・2543、2545。

今年、黒米は〇・一アール栽培される。黒米は三・五キロ、赤米は四十キロの収穫がある。米は四キロの収穫がある。米は四キロの収穫がある。米は四キロの収穫がある。

ノギセンも研究にもつながる。将来的には、ISOの運用を通して得たノウハウを、ISOの取得が少くない農業分野へ普及させることを目指している。

19頭の牛に密着

筑波大学の牛乳が食卓に。乳牛十九頭、羊四匹、水牛二頭、鶏約二百羽を飼育している畜産部門。ひのこ酪農協(土浦市下高津)への牛乳の出荷(キ口あたり七十七円)を中心に、昨年は約五百二十万円の売り上げを挙げた。乳牛を管理する職員の一日に密着した。



牛の世話を片桐孝志さん。月一回、体重測定を行い、健康状態や成長度を見る(牛舎前運動場で)

片桐孝志さん(技術専門職員)がミルクパーラーのドアを開けると、搾乳牛は自分からパーラーへ向かい、列をなす。牛にも力関係がある。牛にも力関係がある。牛にも力関係がある。

主な生産物と販売時期

(来年度の予定をもとに作成、変更の場合あり)

春	夏	秋	冬
西洋アジサイ (500円から)	ブルーベリー (320円から)	精米 (10キロ3900円)	フルーソトマト (100円)
梅 (230円から)	キュウリ (70円から)	柿 (70円から)	石焼き芋 (1キロ500円)
キャベツ (130円)	ジャガイモ (240円)	サツマイモ (420円)	キウイフルーツ (360円)
レタス (110円)	カボチャ (30円から)	ホウレンソウ (100円)	落花生 (1000円)
ダイコン (70円から)	メロン (470円)	竹炭 (160円)	ポインセチア (500円から)
チンゲンサイ (60円)	ハイビスカス (300円から)	西洋ナシ (130円)	

特濃、乳脂肪率4.4%

搾乳、朝の搾乳との間隔が短いため、乳量は朝の約半分だ。一日の乳量は九頭で約百三十リットルと、ほぼ平均的。二頭いる分、搾乳の出産が待ち遠しい。

ズムアップ



点字ブロック上の自転車。視覚障害者の歩行の妨げになる

敷設の限界

点字ブロックは、数多く整備すればいいというものではない。「モノを作ればいい」という思想からの脱却が必要」と徳田克己・助教授(心身障害学系)は指摘する。

点字ブロックから、行き先の情報は得られない。そのため、点字ブロックが氾濫するとかえって混乱をまねく。また、車椅子使用者にとって点字ブロックは、スムーズな走行を阻害する。「正直なところ、車椅子使用者は、点字ブロック敷設にいい顔をしない」と徳田助教授はいう。

予算面でも、一メートルに約一万円のコストがかかる点

敷設の影に潜む問題点

点字ブロックの敷設は、数多く整備すればいいというものではない。「モノを作ればいい」という思想からの脱却が必要」と徳田克己・助教授(心身障害学系)は指摘する。

点字ブロックから、行き先の情報は得られない。そのため、点字ブロックが氾濫するとかえって混乱をまねく。また、車椅子使用者にとって点字ブロックは、スムーズな走行を阻害する。「正直なところ、車椅子使用者は、点字ブロック敷設にいい顔をしない」と徳田助教授はいう。

予算面でも、一メートルに約一万円のコストがかかる点

マフラー

先日、ひやりとさせられたことがあった。やっつことして駐車をした後、運転席のドアを開ける際に、ドアにマフラーを挟んでしまったのだ。

すぐに、先月那須の遊園地で起きた事故が頭をよぎった。バギーカーのエンジン部分にマフラーの端が挟まって若い女性が窒息死亡した事故だ。二・七メートルとまではいかないが、私がその日まいていたマフラーも、縄跳びができるくらいに長いものだった。周りをみると、流行にはあまり敏感とは言えない筑波のキャンパス内でも、二メートル級の長いものをちらほら見かける。

エレベーターや車のドア



つくば版

はもちろんのこと、筑波で危ないのは何と言っても自転車。自転車をこいでいるとき、たいてい、マフラーが木の枝に引っかかりでました。…考えただけで身震いしてしまふ。

それからは、マフラーは首にくるぐる巻いて両端を結ぶことにしている。もうこの際流行がどうのなんて言っているバアイではない。

実際にしてみると、こうしたほうが長たらしい。座りたときに地面をひきずらなくて済むし、いいことだらけなのだ。ただ、首がソウの脚のようになることを除けば……。

(Bisous)

2メートルの悲劇

実際にしてみると、こうしたほうが長たらしい。座りたときに地面をひきずらなくて済むし、いいことだらけなのだ。ただ、首がソウの脚のようになることを除けば……。

(Bisous)

農林技術センター

取材中、とんでもない話をノギセンの人から聞いた。

ノギセンはいろいろな作物を生産しているが、その作物が盗難にあっているという。被害は毎年のように続いており、今年はブドウが盗まれていた。以前はブルーベリーやキウイが標的にされた。あつ朝、果樹園に行くと、梨が一本分まるまる全部、盗まれていた。

作物だけでなくトラクター用のガソリンが盗まれたこともあった。この時はさすがに警察に被害届を出したという。

開発教育セミナー

開発教育地域セミナー「みたい! いきたい! きづきたい! いばらき発 新しきみつけませんか?」開催のお知らせ

「開発問題を途上国だけの問題としてではなく、世界と密接につながっている毎日の『くらし』を見つめ直して、私たち一人一人がそこから学び、身近な視点から問い直すことができるか」という思いをこめて、「楽しく、わかり

簿記のクリスマス

簿記二級。経理をやりたい者にとっての登竜門である。高卒レベルらしいが、結構難しい。僕は、わざわざ土浦三高まで出て、試験を受けてきた。そして、一週間後、悲願の合格を果たしたことを知った。

僕の親も簿記二級の資格を持っている。この歳で親との共通点が出て嬉しかった。

僕は、試験の手応えがあまりなかった。で、本当に受かっているかどうか、とちあえず合格証をもらおうと思

寂しいイブに予定が♡

土浦の商工会議所へ自転車で向かう。土浦までの道のりは遠い。筑波周辺でしか活動していない僕にとって、五十分の山あり、谷ありの旅は、厳しいものだった。

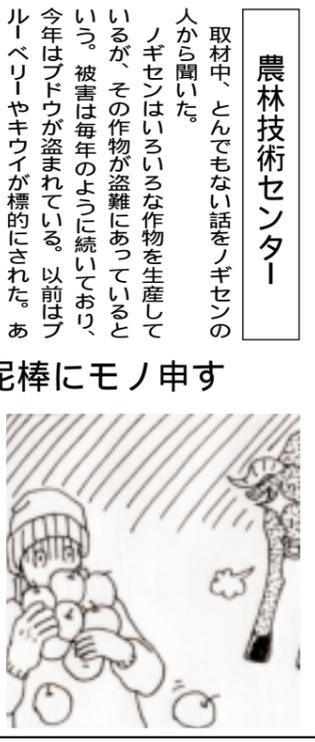
そして、ようやく辿りついた土浦商工会議所。職員への対応は良いが、困った様子。実はですね、合格証の交付は、十二月二十四日からなんです。そんな。無然として立ち去る僕。仕方がないから、帰りの途中に山岡屋でラーメンを食べて帰る。しかし、唐辛子を入れすぎて汗だくになってしまった。踏んだり蹴ったりである。しかし、良いことが一つあった。暇なはずの十二月二十四日に往復二時間も予定が入ったことだ。

(もりたる)

果物泥棒にモノ申す

犯行はますます計画的になっていく。最近では、果樹園の入口に掛かっている南京錠が工具で切られていた。実験用のサンプルが鉢ごと盗まれている。一年間の研究が台無しにされた学生もいる。窃盗は十年以下の懲役が課せられる罪だが、それ以上に罪の大きさを犯人には感じてもらいたい。ひとが見ていなくても、あなたと牛が犯行を見えていますよ。

(マク)



広告募集

あなたの夢を実現するため、大学の知を共有するため、私たちはお手伝いします。本紙は、学生、教職員の間で、最も親しまれている学内メディア。広告効果は絶大です。ぜひ、お気軽にご相談下さい。

(連絡先は5面に掲載)

映画上映のお知らせ

会場 学生会館講堂
時間 午後6時15分から

ハリポッター 1月10日(金)
リトル・ダンサー 1月15日(水)
HANA-BI 1月24日(金)
山の郵便配達 1月31日(金)
鉄道員(ぽっぽや) 2月7日(金)

入場無料

問い合わせ先 内線 2034

白石紀雄教授 最終講義

日時 03年1月3日(金) 午後3時~4時45分
場所 第1学群1D204教室
トマス・ジェフソンとクエーカー
研究課題として生きるガイドとして

記念パティは同日午後6時から
学生会館1階 レストランプラザで

食・農・からだの社会学

共編著 松村和則 助教授
(体育科学系)
新曜社
2400円(税別)

本学教員新刊 ラインナップ

射撃部 存続の危機に

講義室への改装計画が浮上

体育センター1階のライフル射撃場

体育会のライフル射撃部が、窮地に立たされている。体育センター1階の射撃場「写真」を、講義室に改装する計画が、現在検討されている。本学の射撃場は、同センターだけで、ライフル射撃部にとっては存続の危機につながる。主将の佐藤久美子さん(自然三年)は「部員も増え、活動が活発になり始めていただけに、何としても射撃場を残してほしい」と訴える。改装の話が持ち上がったのは、昨年、銃を五丁所有していた田崎洋佑・助教(体育科学系)が退官し、今年から射撃の授業がなくなったからだ。昨年九月に顧問の嵯峨寿講師(体育科学系)を通じて、センターの意向が当時の主将、加門正義さん(生物四年)に伝えられた。今年五月には、萩原武久センター長(体育科学系教授)と部員との間で初めて話し合いの場が設けられた。



十一月十三日に行われた課外活動連絡会で、萩原センター長は「技官のための部屋や、雨天時の体育の講義室が不足している」と、射撃場を改装して挙げて、銃庫を含めて完全改装したと述べた。射撃場は一九七七年に映像室を改装して作られた。防弾ガラスが設置された奥所を探するのは難しい。最も近い真壁町の射撃場でも、車約四十五分かかる。さらに、営業時間が午後五時までと短く、平日の活動は不可能になる。佐藤さんは「休日には試合があるため練習ができない」と漏らす。「何よりも、話し合いの場が少なかつた。体育セン

二系新委員長決まる



二〇〇三年の文化系サークル連合会、芸術系サークル連合会の運営委員長と体育会執行委員長が決まった。新執行部は来年一月からスタートする。文芸連の運営委員長は、井上東さん(工芸二年)、点字サークル「てんつく」の「写真上」これまで役員経験はなかったが、現委員長の中村尚史さん(人文三年・天文研究会)からすすめられての大抜擢だ。文芸連の執行委員長は、花岡亜希さん(比文二年・書道部)と写真中。今年一年芸文連の広報委員長として、広報紙の発行などを手がけてきた。「まだ実感は湧かないが、執行部全員で仲良くやっていきたい。運営を効率化するため、分業

今後については「体育会を通して、交渉をしていくつもり」と佐藤さん。体育会の佐野晶子さん(体育二年)も「射撃部の活動が今まで通り行えるように、サポートしていきたい」と話している。

たばこ自販機撤去 一の矢で49%賛成

第五十回厚生会理事會が十一月二十六日、本部棟大會議室で行われ、学生、教員など二十一人が出席した。宿舎地区からたばこ自販機を撤去するか、どうかをめぐり、学生を対象にアンケートが実施され、学生理事の川本海さん(工芸一年)が中間報告をした。アンケートは主に、一年次の学生を対象としている。回収されたアンケートの三割ほどが集計され、そのうち、一の矢地区の結果が公表された。あくまで一部の結果だが、たばこ自販機の撤去については、一の矢地区では賛成が四九%、反対が二七%、棄権が二四%だった。

たばこ自販機撤去のアンケート結果が公表された。一の矢地区では賛成が四九%、反対が二七%、棄権が二四%だった。また、スポーツ用品店を営む東峰企画が、体芸食堂三階に新しくカフェを営業することや、事務区が教育研究支援室に改組されたことに伴う厚生会会則の一部改正などが承認された。

茗溪グラフェス 来月13日に開催
前身校も含めた本学の卒業生、学生、教職員が一堂に会する交流の場、茗溪・茗溪グラフェス。是非ご参加下さい。呼びかけている。連絡先は実行委員会事務局029-852-8572、メール茗溪@hokosha.comまで。

最後の華飾る 栗苑祭開催
図書館情報大学最後の学園祭となる第二十二回栗苑祭が十一月十六、十七の両日に春日キャンパスで行われた。テーマは「ブッシュ」や模範店が軒を連ねた。写真部から組の展示は、フロアの中央にパネルを何枚も並べるといった大胆な展示で、人目を誘った。実行委員長の中禮健さん(図情大二年)は、「筑波大との」授業との兼ね合いや、次期委員長が不在のため、今年で最後にしようというところになった。昨年で最後にしようというところになった。昨年で最後にしようというところになった。昨年で最後にしようというところになった。

ひったくり相次ぐ

追越で下着泥棒逮捕



本学の構内で、十一月十二日から十八日までの二日間に、九件のひったくりが発生した。犯行は午後七時から深夜にかけて集中しているが、午前四時

ごろ襲われた例もある。つくば中央警察署の濱田裕司・生活安全課長は「真夜中の危険な時間に筑波大生が歩かないようにするには、どうすればいいのか」と頭を抱えている。被害に

遭っているのは全て女性。バイクに二人乗りをした犯人に、自転車の前カゴに入れた荷物を取られるというケースがほとんどだ。天久保池の前で三件、兵太郎池の前で三件と、二カ所に被害が集中している。中央署では十一月二十九日

「ひったくり」は、特に女性に、市販の防犯ネットを使う、夜の外出はひかえるなど自衛してほしい。困る

同署は八日夜、つくば市天久保の会社員、藤井憲治容疑者(三三)を建造物侵入の疑いで緊急逮捕した。調べによると、藤井容疑者は八日午後六時四十五分ごろ、下着を盗もうと追越学生宿舎二十号棟に侵入した。外階段を下りてきたところを学生三人が見つけて追跡。一〇番通報して、駆けつけた同署員に引き渡した。現在、余罪を追及している。

サークル



29

「介助」ではなく「介護」を。本学学生と茨城県立医療大学の学生、社会人で構成される「障害者の自立生活を実現する会」は、障害者、健常者の区別なく、誰もが普通の生活を送れるようにと、活動している。設立は十年前。本学に在籍していた筋ジストロフィの男性を、周りの人が支え始めたことが契機だ。介護と介助の違いについて、次期代表となる上淵翔



気負わず自然体の介助 障害者と対等な関係を

寝て、夜中の寝返りなどを介助する。入浴や着替えも手伝う。ホームヘルパーの資格を持っている人もいるが、特に専門の知識は必要ない。新入生は先輩と一緒に介助を行い、活動の中心にもなっている。例えは言語障害のある人の場合、言葉がよく聞き取れないことがある。五十六人と大所帯だが、実際に活動するのは五十人ほど。必要な時間に介助ができる人を見つけたのが大変だ。「障害者の方が風邪を引いたとき、慣れた人がいい」と言われると、つらいですね」とい

上淵さんは、活動を通じて障害者と対等な関係ができることを発見したという。「新入生が入るたび、障害者の人が、合コンしたいというんです。気負わない会の雰囲気は垣間見えた。(本紙・廣野郁恵「比較文化学類」)



村上名誉教授が講演

笑いとの健康の関係を探る

来月1月12日午後1時から(開場は正午)ノバホール(つくば市吾妻)で「笑いとの健康」と題したイベントが行われる。

内容は、「B&B」(吉本興業)による漫才と、「輝いて生きる あなたの遺伝子が目覚めるとき」と題した村上和雄名誉教授の講演。

村上名誉教授は、今年8月に心と遺伝子の研究会を設立し、庄司進一教授(臨床医学系)と共に、遺伝子のはたらきと心との関係について研究している。笑ったり、ポジティブな思考をする、遺伝子が才

ンになる(働き出す)のではないかと村上名誉教授は考える。今回のイベントは、心と体との関係についての実験も兼ねている。

村上名誉教授は「多くの人が来ていただき、よい遣いをしてほしい」と呼びかけている。

石打研修所

1カ月前から予約開始

石打研修所(新潟県南魚沼郡塩沢町)の冬季利用の予約受付が始まっている。利用期間は12月20日から来年3月31日まで。ただし、12月31日の午後10時から1月3日の午後3時までは休館する。

予約は、利用開始希望日の1カ月前から(1カ月前が土・日曜日、祝日)に受付開始。利用料は、利用期間が1カ月前から1ヶ月未満の場合はその前日(土・日曜日、祝日)にあたる場合、その前日(土・日曜日、祝日)に利用料を請求する。食事料金は、食事申込書、食事料金を除いた運営費などの料金を添えて、利用許可申請の手続きを行う。

冬期休業に伴い、附属図書館の休館日、貸出期間が変更される。

年末年始の休館日は12月27日、1月5日まで。通常より延長される。12月4日から24日まで、12月4日、10日に借りた本の返却期限は1月8日。

予約と利用許可申請の手続きは、いずれも本館棟2階の学生課で受け付けている。電話での受け付け、照会も行っていない。案内資料、各手続き書類は同課と学校教育事務部総務課(東京地区)にある。

学生部学生課は「近くに

Who's Who?

外務省HPで解説記事を書く

高木功介さん(国際2年)



11月11日、日・EU交流促進シンポジウムが東京・港区の三田共用会議所で開催された。シンポジウムの合間のレセプションタイムに、日本とEUの政府高官に交わり、学生でありながら共に懇談する人がいた。高木功介さん(国際2年)だ。2年前に外務省に提出した論文が評価され、シンポジウムに招待された。

「大学も外務省での経験も、一つ一つが勉強です」という高木さんは、外交官

将来の夢は「外交政治家」

吉田茂の伝記がきっかけ

を多角的に学んでいる。しかも座席は常に最前列。「専門的な視点を持って質問を外交に実践したい」という強い信念は、外から見ても分かる。

外務省のホームページ「聞きたい! 知りたい! や指揮法について」も自信はありますよ。音楽と外交はかけ離れたものに見えるが、「平和な安らぎ」という気持ちが根底にあるのだ。

「外交に大切な和やかさです」が持論。そんな高木さんだが、僕は、とつきよくそうとよく言われるのですよ。そんなことないのになあ」とぼやく。やがては「外交政治家になりたいです」という。外交官やNGOでは発揮する力に限界があると考え、外交は政治家がイニシアティブを取るべきだという信念を持つ。「高木さんなら大丈夫ですよ」と、思わず言っていました。

「聞きたい! 知りたい! 外務省」のURLは <http://www.mof.go.jp/rota/anna/listen/interview/index.html>

冬期休業に伴い、附属図書館の休館日、貸出期間が変更される。

年末年始の休館日は12月27日、1月5日まで。通常より延長される。12月4日から24日まで、12月4日、10日に借りた本の返却期限は1月8日。

予約と利用許可申請の手続きは、いずれも本館棟2階の学生課で受け付けている。電話での受け付け、照会も行っていない。案内資料、各手続き書類は同課と学校教育事務部総務課(東京地区)にある。

学生部学生課は「近くに

冬休みの学生宿舎日程(空欄は通常営業、灰色は休業)

	12月							1月						
	2	6	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7
曜日	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
平砂														
食堂														
売店														
浴場														
追越														
食堂														
売店														
浴場														
一の矢														
食堂														
売店														
浴場														

次号は
2月10日(月)
発行予定です

Tsukuba INFORMATION of CULTURE

つくば美術館 029 8-56-3711

つくば版画家展
12月25日(水)~1月5日(日)
出品作家=河口龍夫、生嶋順理、高津克志
平成14年度 芸術専門学群 卒業制作展
2月11日(火)~2月23日(日)
内容=総合

ノバホール 029 8-52-2881

混成合唱団 第27回定期演奏会
12月21日(土) 14:00~
前売400円 当日500円
ウィーン・オペラ舞踏会管弦楽団
1月2日(木) 17:00~
指揮 ウヴェ・タイマー
モーツァルト:交響曲第29番
ヨハン・シュトラウス:ワルツ「春の声」ほか
S席5000円 A席3500円
東京フィルハーモニー交響楽団演奏会
1月13日(月) 15:00~
指揮 チョン・ミョンフン

ヴァイオリン独奏 榎本大進
S席5500円 A席4500円 B席3500円 C席2500円
つくばトロンボーンクラブ第16回定期演奏会
1月18日(土) 19:00~
無料
狂言と手話狂言
1月19日(日) 14:00~
出演:三輪明宏、三宅狂言会、日本ろう者劇団
全指定席2000円
プロムナードコンサート(筑波大学管弦楽団)
1月25日(土) 18:30~
シベリウス:フィンランディア
チャイコフスキー:ワルツ
無料
筑波大学ギター・マンドリン部第24回定期演奏会
2月8日(土) 18:00~
ケテルビー:ペルシャの市場にて
ブラームス:ハンガリア舞曲第2番
前売350円 当日400円
筑波大学吹奏楽団アンサンブルコンサート2003
2月9日(日)
無料

つくばカピオ 029 8-51-2886

平成15年つくば市成人の集い
1月13日(月) 11:00~
イッセー尾形のとまらない生活2003inつくば
1月17日(金)~19日(日) 19:00~(19日のみ)
S席4000円 A席3000円(つくばカピオで販売)

大学会館書籍部ベストセラー

1	ハリー・ポッターと炎のゴブレット J・Kローリング/静山社
2	新・ゴーマニズム宣言(12) 小林よしのり/小学館
3	海辺のカフカ(上) 村上春樹/新潮社
4	ハリーポッターと秘密の部屋 J・Kローリング/新潮社
5	海辺のカフカ(下) 村上春樹/新潮社
6	天国の本屋 松久淳他/かまくら春秋社
7	海馬 池谷裕二、糸井重里/朝日出版社
8	雪の降る音 おいしいコーヒーのいれ方 村上由佳/集英社
9	死なないでいる理由 鷲田清一/小学館
10	しまなみ幻想 内田康夫/光文社

11月の第1位は、先月に引き続き「ハリーポッターと炎のゴブレット」。プレゼントにも最適な「天国の本屋」が第6位。突然、天国に連れてこられた普通の大学生と。心に傷を負うユイと恋に落ちる。他人として現世に戻ることにした二人は再会を約束するが……。

12月の催事はクリスマスプレゼントフェア(10%オフ、25日まで)。手帳、カレンダー、フェア(10%オフ、今年未だ)。